

① 進路を意識した時期

4割以上が中学生までに高校卒業後の進路(就職か進学か)を意識

「自分が文系向きか理系向きか」「高校卒業後に就職するか進学するか」については4割以上が、「どのような職業に就くか」については3割以上が、中学生までに意識している。一方で、それらを「意識したことはない」という高3生も1~2割弱いる。進路別にみると、就職する高3生の3割は、高校2年生のときに「就職するか進学するか」を意識している。一方で、四年制大学(偏差値65以上)に進学する高3生の約4割は「意識したことはない」と回答している。

Q あなたが次のことを最初に意識したのはいつですか。

図2-1 進路を意識した時期(全体)

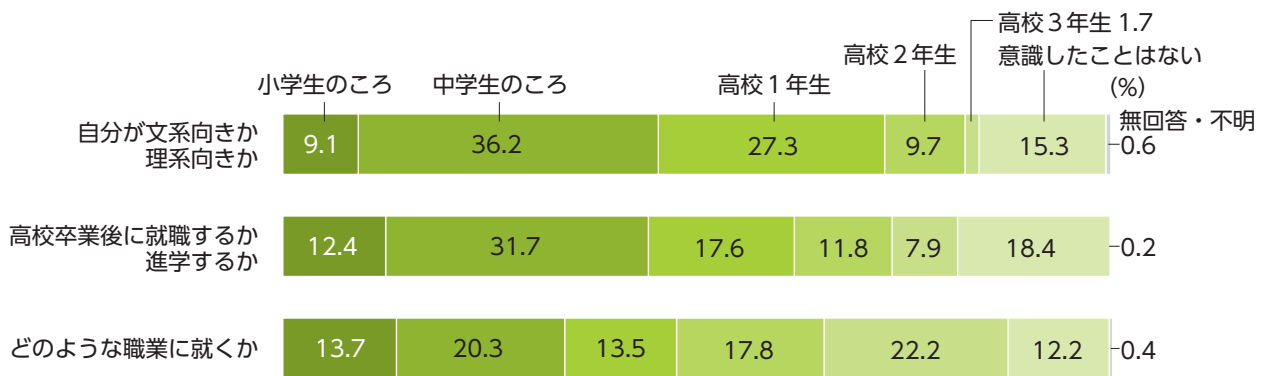
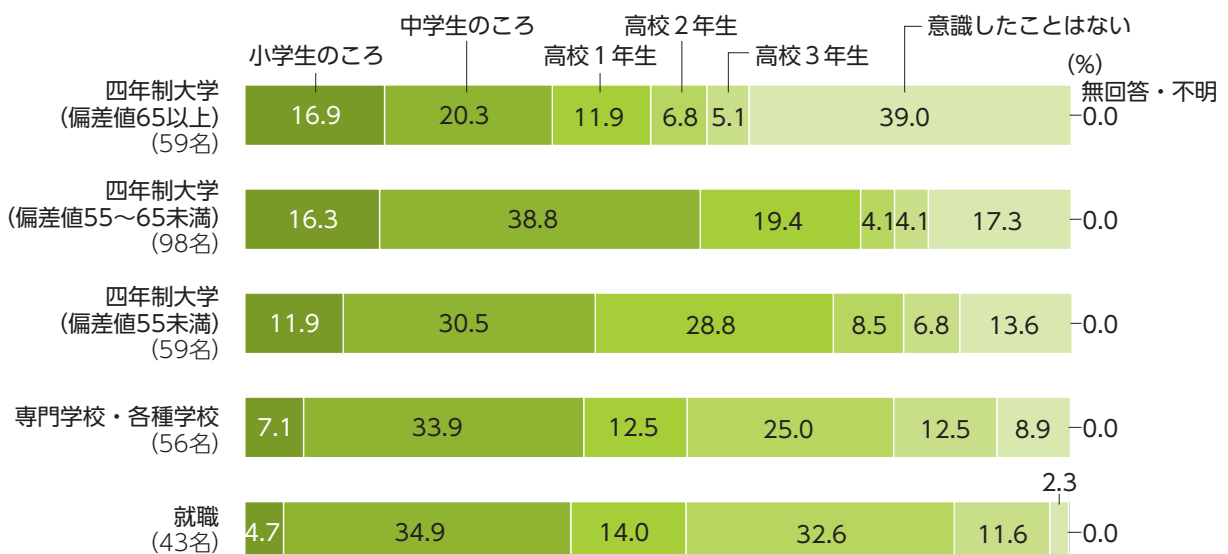


図2-2 「高校卒業後に就職するか進学するか」を意識した時期(進路別)



② 進路決定の参考にしたこと

四年制大学進学の高3生は「自分の成績」を、専門学校・各種学校進学と就職の高3生は「将来就きたい仕事」をもっとも参考にしている

四年制大学(偏差値65以上、偏差値55～65未満)に進学する高3生は、四年制大学(偏差値55未満)の高3生に比べて、「卒業後の進学・就職の実績」「大学・学校の偏差値が高いこと」「建学の理念や校風」を進路決定の参考にしている。また、専門学校・各種学校に進学する高3生は「将来就きたい仕事」「卒業後の進学・就職の実績」「資格や免許が取れること」などを、就職する高3生は「(将来)就きたい仕事」「就職先の雰囲気」「経済的な負担の少なさ」などを進路決定の参考にしている。

Q 4月からの進路を決める際に、次のことをどれくらい参考にしましたか。

表2-1 進路決定の参考にしたこと(進路別)

(%)

	四年制大学 (偏差値65以上) (59名)	四年制大学 (偏差値55～65 未満)(98名)	四年制大学 (偏差値55未満) (59名)	専門学校・ 各種学校 (56名)	就職 (43名)
自分の成績	① 79.7	① 89.8	① 83.0	57.1	60.5
卒業後の進学・就職の実績	① 79.7	② 78.5	⑤ 59.3	② 85.7	
将来就きたい仕事	③ 76.3	③ 76.5	② 76.3	① 91.1	① 81.4
大学・学校の偏差値が高いこと	③ 76.3	⑤ 72.5	42.4	17.9	
カリキュラムや授業の内容	⑤ 64.4	③ 76.5	④ 62.7	④ 78.5	
通学(通勤)のしやすさ	54.2	54.1	⑤ 59.3	67.8	⑤ 72.1
建学の理念や校風	52.5	57.2	33.9	⑤ 69.6	
資格や免許が取れること	50.8	71.4	③ 64.4	③ 84.0	55.8
経済的な負担の少なさ	49.1	61.2	54.2	67.8	③ 74.5
部活動やサークル活動の経験	22.1	29.6	25.5	25.0	53.5
就職先の雰囲気					① 81.4
就職先の実績					④ 74.4
就職先の知名度や評判					69.8
就職先の規模					67.4

注1 「とても参考にした」+「まあ参考にした」の%。

注2 グレーのアミカケの項目は尋ねていない。

注3 進路ごとに、上位5位の順位(①～⑤)を示している。

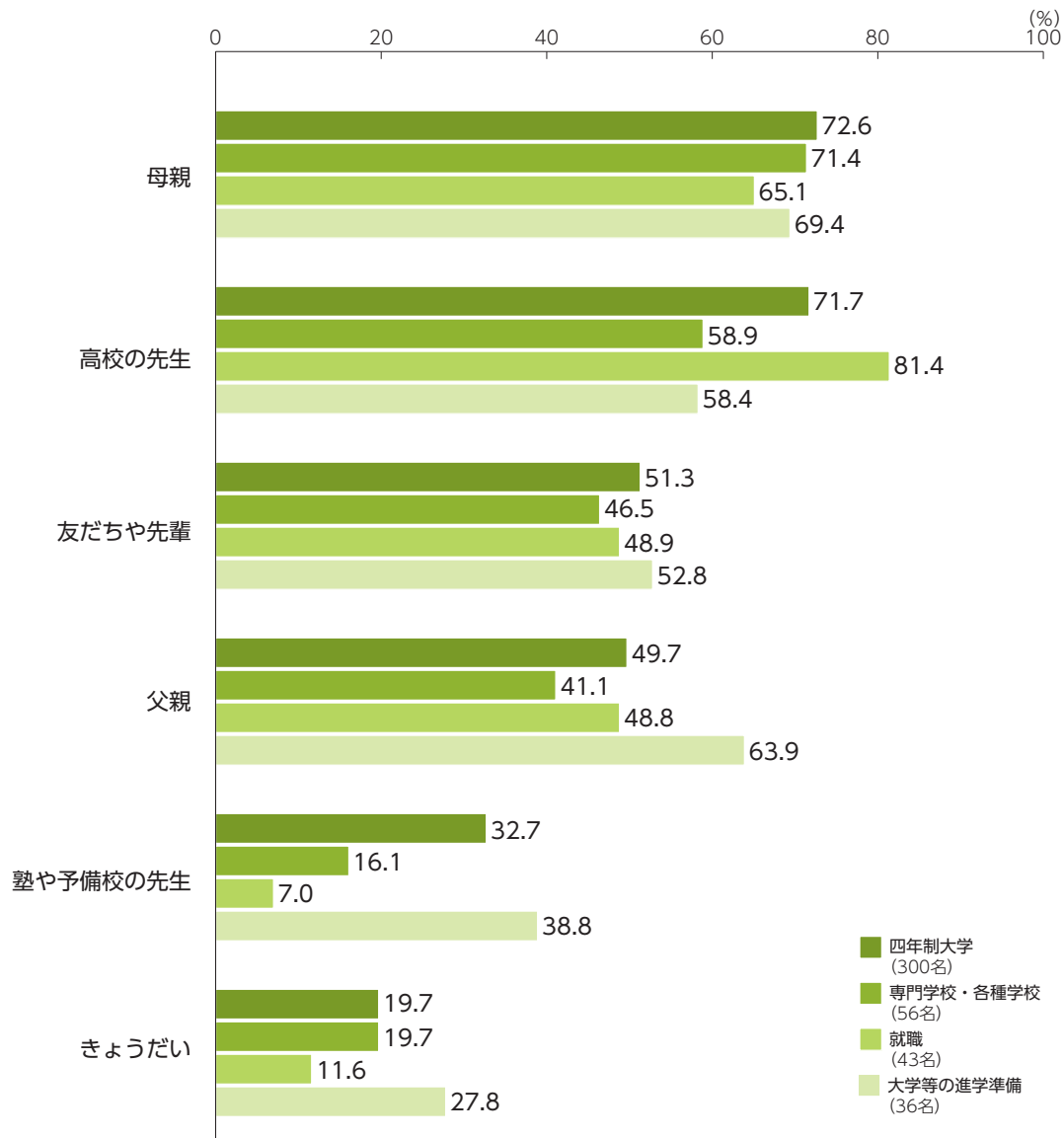
③ 進路決定に影響した人

進学する高3生は「母親」、就職する高3生は「高校の先生」の影響が大きい

高3生が進路を決める際に、意見やアドバイスで影響を受けたのは、「母親」や「高校の先生」の割合が高く、4月からの進路に関わらず半数以上が「影響した」（「とても影響した」+「まあ影響した」、以下同様）と回答している。とくに、4月から就職する高3生は「高校の先生」の影響を受けたと回答する割合が高い（81.4%）。学校での進路指導や就職先の紹介など、就職における「高校の先生」の影響の大きさが読み取れる。

Q 4月からの進路を決める際に、次の人の意見やアドバイスはどれくらい影響しましたか。

図2-3 進路決定に影響した人(進路別)



注 「とても影響した」+「まあ影響した」の%。

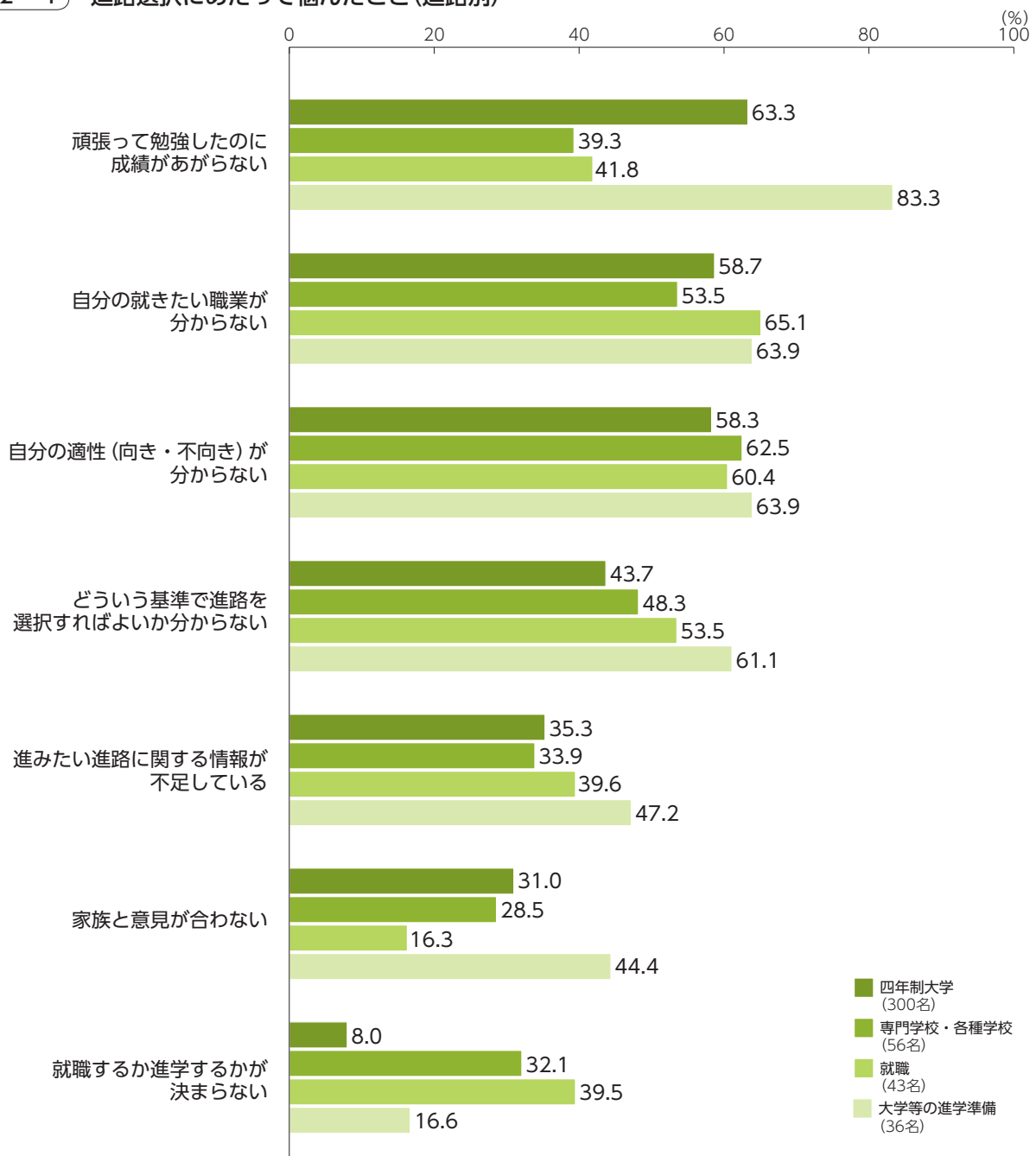
④ 進路選択時の悩み

進路に関わらず、半数以上の高3生が「就きたい職業」や「自分の適性」について悩んだことがある

進路選択にあたっては、「自分の就きたい職業が分からない」「自分の適性(向き・不向き)が分からない」などで悩んだことが「あった」(「よくあった」+「ときどきあった」、以下同様)と回答する割合が高く、どの進路を選んでも半数以上が悩んだことがある。また、4月から「大学等の進学準備」を行う高3生は、他の進路の高3生よりも悩んだことがある割合が高い項目が多い。とくに「頑張っても勉強したのに成績があがらない」(83.3%)、「家族と意見が合わない」(44.4%)は他の進路の高3生との差が大きい。

Q あなたは進路選択にあたって、次のことに悩んだことがありましたか。

図2-4 進路選択にあたって悩んだこと(進路別)



注 「よくあった」+「ときどきあった」の%。

⑤ 大学でしたいこと

四年制大学・短期大学進学者の多くが、大学での学びや活動に期待を寄せている

大学・短期大学では「将来の仕事や就職に役立つような力を身につけたい」「専攻する分野について深く学びたい」など、多くの項目で9割前後がしたい(「とてもあてはまる」+「まああてはまる」、以下同様)と考えている。一方で、「大学で何に力を入れるかこれから考えたい」と回答している高3生も7割である。進学する大学偏差値別にみると、「友人をつくり、よい人間関係を広げたい」「部活動・サークルなど課外活動に力を入れたい」については、偏差値の高い四年制大学に進学する高3生のほうがしたいと考えている。

Q あなたが進学先の大学に入学するにあたって、次のことはどれくらいあてはまりますか。

図2-5 大学でしたいこと

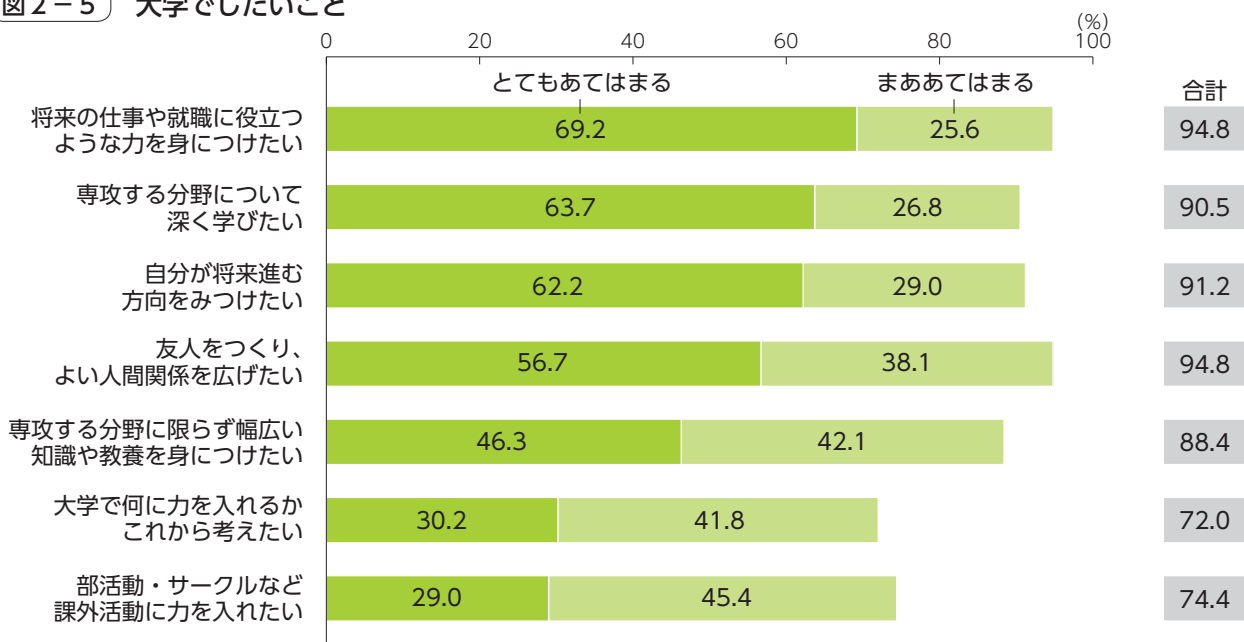


図2-6 「友人をつくり、よい人間関係を広げたい」(大学偏差値別)

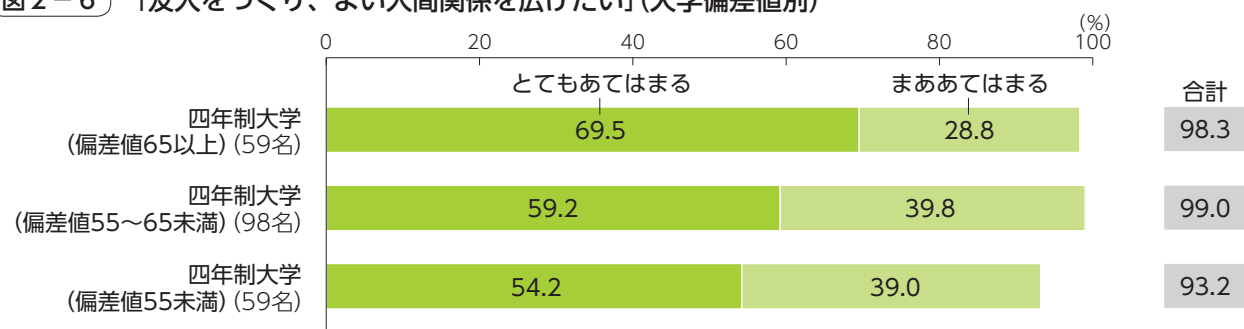
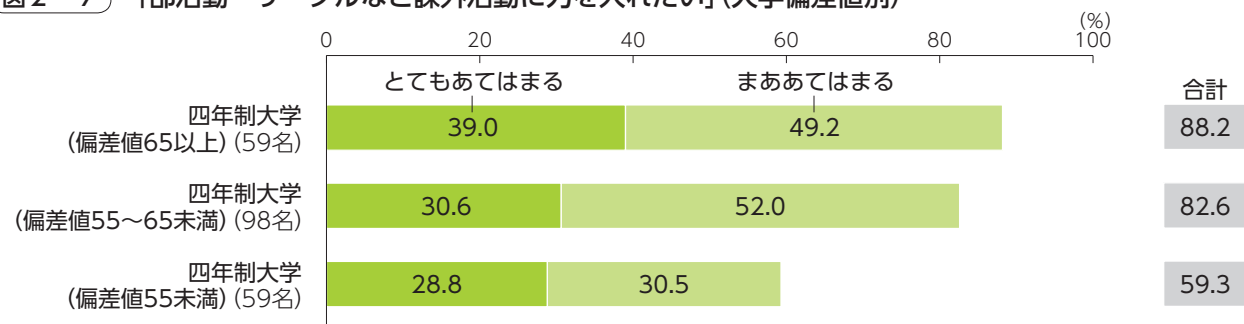


図2-7 「部活動・サークルなど課外活動に力を入れたい」(大学偏差値別)



注 4月からの進路について、「四年制大学に進学」「短期大学に進学」を選んだ回答者のみに尋ねた(図2-5~図2-7)。

⑥ 大学受験に対する考え

大学受験を「成長の機会だった」と思う大学進学者は8割

自分の大学受験について、8割の高3生が「成長の機会だった」（「とてもそう思う」＋「まあそう思う」、以下同様）と感じている。入試方法別にみると、「一般入試」「一般推薦」の高3生は、「指定校推薦」の入試を受けた高3生に比べて「成長の機会だった」と考える割合が高い（9割弱）。大学受験に対しては、7割以上が「入試では学力だけでなく多様な能力を評価すべきだ」と考えている。一方、学力以外の能力も評価していると思われる推薦入試については、5割以上が「推薦よりも一般入試で自分の力を試したほうがよい」と考えている。

Q あなたは大学受験について、どう思いますか。

図2-8 あなたにとっての大学受験

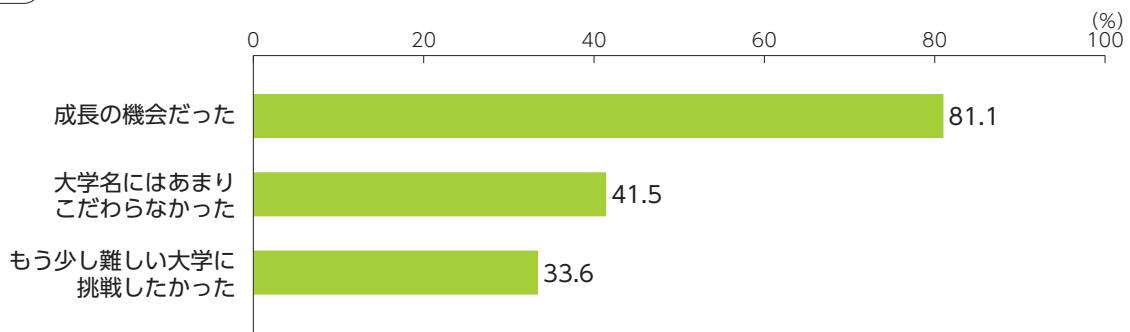


図2-9 大学受験は「成長の機会だった」（入試方法別）

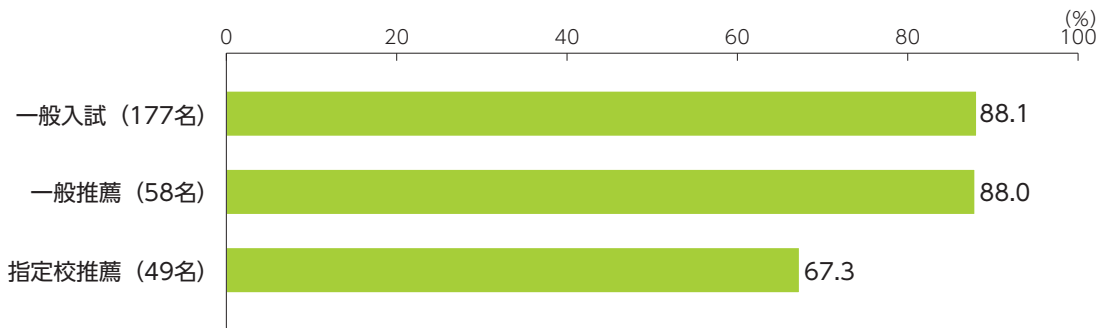
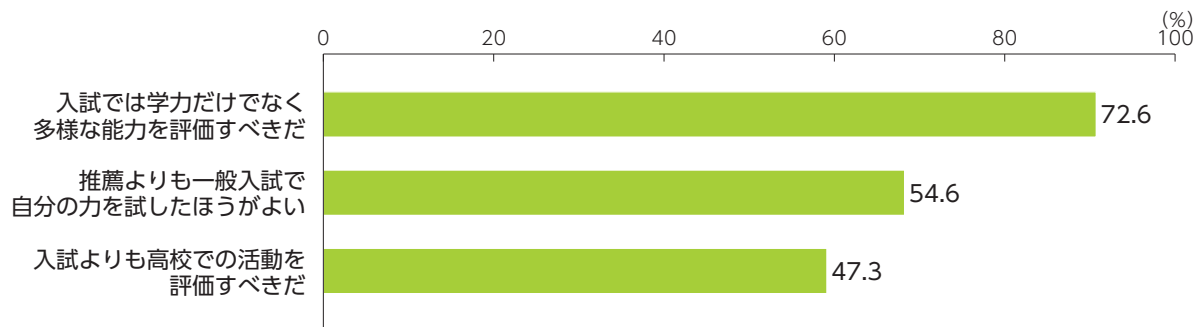


図2-10 大学受験に対するあなたの考え



注1 4月からの進路について、「四年制大学に進学」「短期大学に進学」を選んだ回答者のみに尋ねた（図2-8～図2-10）。

注2 「とてもそう思う」＋「まあそう思う」の%（図2-8～図2-10）。

注3 「一般入試」には大学入試センター試験の利用を含む。「AO入試」、「附属校からの進学」、「その他」、「試験はなかった」については省略している（図2-9）。

⑦ 希望した進路の実現度

四年制大学進学者の36%が「他に行きたい進学先や就職先があった」と回答

4月からの進路をどれくらい希望していたかを尋ねたところ、3割が「他に行きたい進学先や就職先があった」と回答している。進路別にみると四年制大学進学者で36.0%とその割合は高い。また入試方法別にみると、「AO入試」や「一般推薦」「指定校推薦」の場合には「もっとも希望していた進学先や就職先だった」と回答した割合は7割弱～9割弱と高くなっているが、「一般入試」の場合は4割と低く、約5割が「他に行きたい進学先や就職先があった」と回答している。

Q この4月からの進路について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

図2-11 希望した進路の実現度(全体)



図2-12 希望した進路の実現度(進路別)

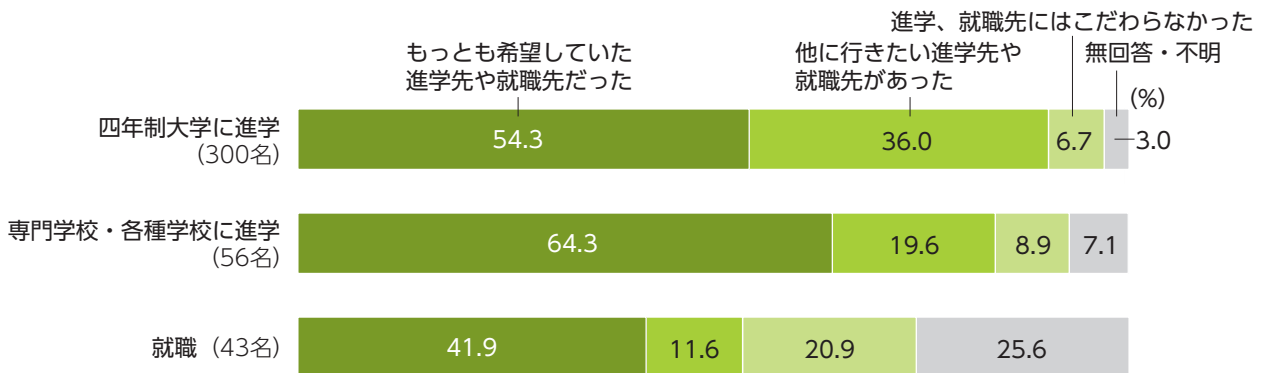
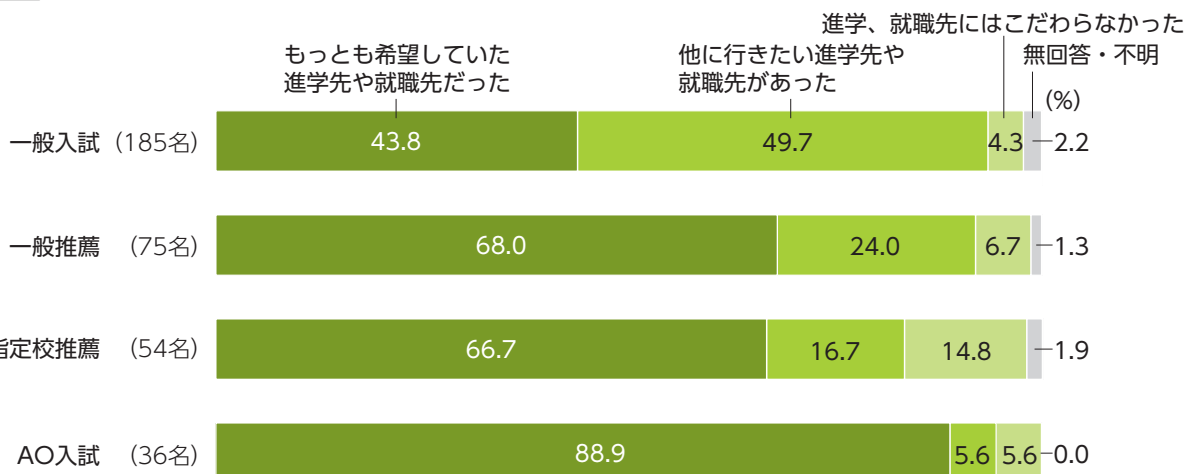


図2-13 希望した進路の実現度(入試方法別)



注 「一般入試」には大学入試センター試験の利用も含む(図2-13)。

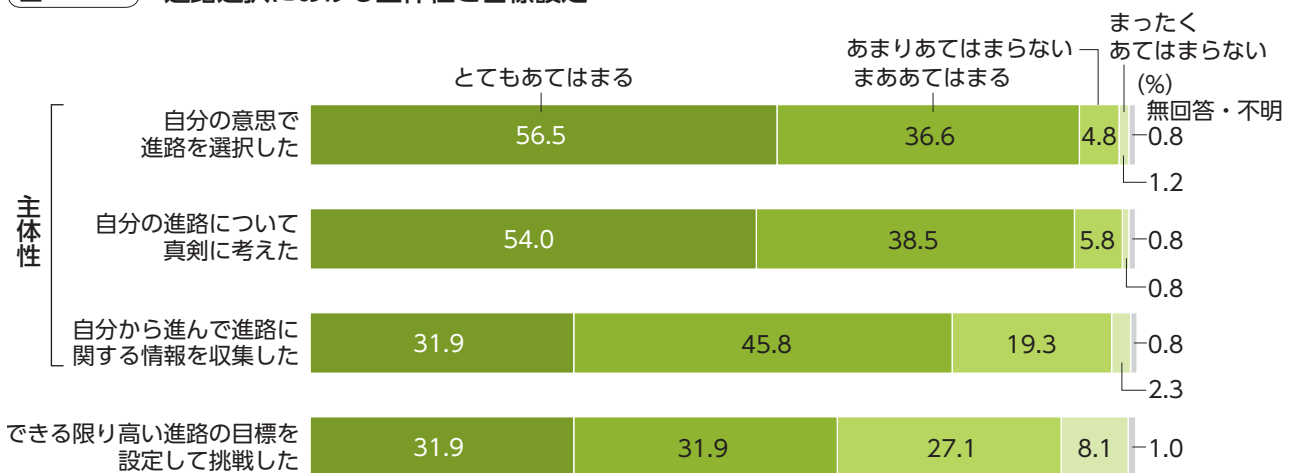
⑧ 進路選択における主体性

主体的に進路を選択した高3生は、より早い時期から就きたい職業を意識している

高校卒業後の進路選択における主体性や目標設定の高さについて尋ねたところ、「とてもあてはまる」の割合は3～5割台、「まああてはまる」を含めると6～9割台であった。また進路選択における主体性を3群に分けたところ、「進路選択主体性・高群」の高3生は早い時期から「どのような職業に就くか」を意識する傾向がみられた。逆に「進路選択主体性・低群」の高3生は、就きたい職業を「意識したことはない」と回答した割合が高い。

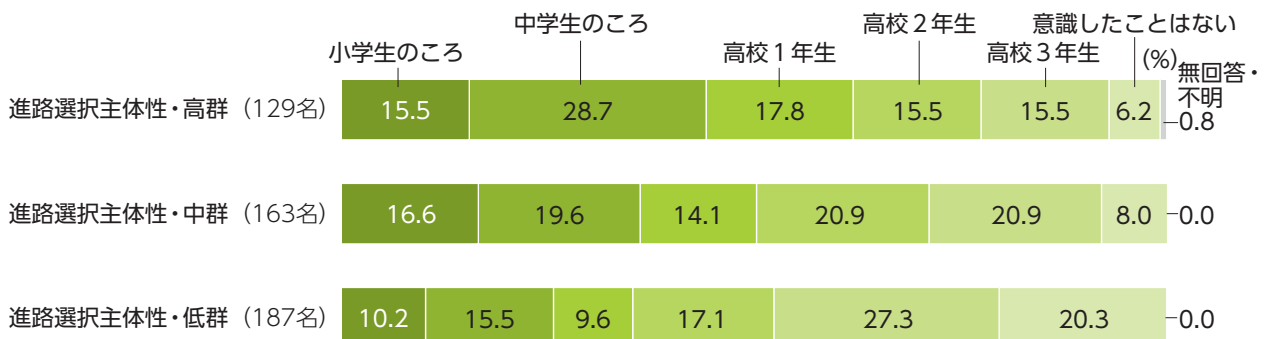
Q あなたが進路を決めるにあたって、次のことはどれくらいあてはまりますか。

図2-14 進路選択における主体性と目標設定



Q あなたが「どのような職業に就くか」を最初に意識したのはいつですか。

図2-15 「どのような職業に就くか」を意識した時期(全体・進路選択における主体性別)



注 図2-14に示した項目のうち「自分の意思で進路を選択した」「自分の進路について真剣に考えた」「自分から進んで進路に関する情報を収集した」の3項目について、「とてもあてはまる」を4点～「まったくあてはまらない」を1点として合計得点を算出し、「進路選択主体性・高群」「進路選択主体性・中群」「進路選択主体性・低群」に3分割した(図2-15)。